TOSHIBA
Leading Innovation

# 東芝リモコン送信器取扱説明書

保管用

形名　FRC-184T

お客様へ

●このたびは東芝リモコン送信器をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。
●この商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
●本書は必ず保管してください。

## ■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

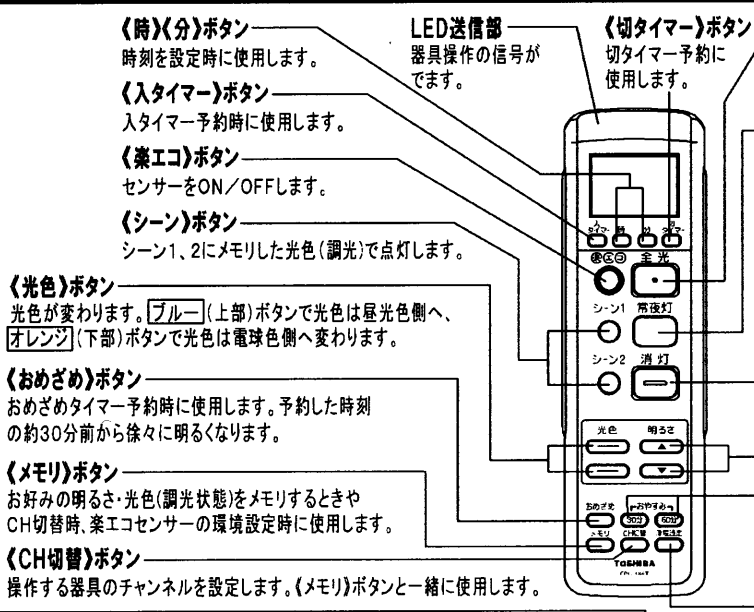
| ⚠ 注意<br>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。 | | |
|---|---|---|
| | 湿度 | このリモコンは非防水です。屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 |
| | 改造 | リモコンを分解や改造したり、部品を変更しないでください。火災・感電の原因となります。 |
| | 高温禁止 | 温度の高い場所では使用しないでください。暖房器具・ガス器具の真上付近等では使用しないでください。火災の原因となります。 |

## 各部の名前

このリモコン送信器は「東芝LED照明器具」専用です。他の機器にはご使用できません。
他の当社リモコン対応商品の場合、使えない機能があります。

### ■商品の概要

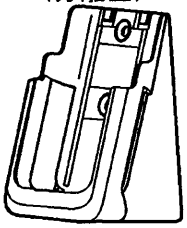
◎全光、調光（明るさ：100%～約1%、光色：電球色～昼光色）、常夜灯（明るさ6段階）、消灯の切り替えがリモコン送信器で操作できます。
◎タイマー予約で自動点灯、自動消灯が可能です。設定した時刻になると、照明器具に信号を送って、調光状態または消灯状態にできます。
・時計機能付きです。（時計の精度は月差30秒以内です。）
◎お好みの明るさ・光色をシーン登録できます。



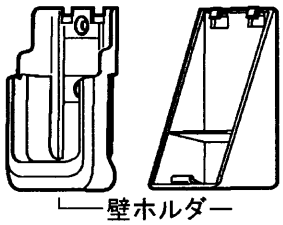

ご注意 リモコン本体の前面には保護シート（透明）が貼ってあります。LED送信器の保護シートははがしてご使用ください。そのままご使用になりますと、リモコンの効きにくい場合があります。

## リモコン送信器付属品

卓上ホルダー
（分離型）

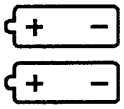


分離して壁ホルダーとしてもご使用いただけます。



壁ホルダー

単4乾電池（2本）

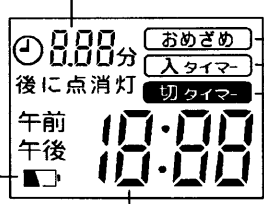


※動作確認用です。

壁ホルダー
取付用木ねじ（2本）

## 液晶パネル表示

説明のため、全部を表示しております。
実際にはこの表示にはなりません。




CH表示／タイマー表示
タイマー設定時は残り時間を表示します。

おめざめ予約表示
おめざめタイマーを予約した場合に表示します。

入タイマー予約表示
入タイマーを予約した場合に表示します。

切タイマー予約表示
切タイマーを予約した場合に表示します。

電池残量表示
電池の残りが少なくなると表示します。
マークが表示されたら、電池2本とも新しいものに交換してください。
※リモコン機能が正しく動作しません。

時計表示
現在時刻を表示します。
予約内容を確認した場合は、予約時刻を表示します。

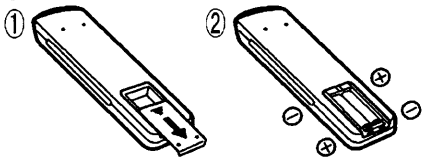


0032438A

## ■リモコン送信器への乾電池の入れ方

①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。

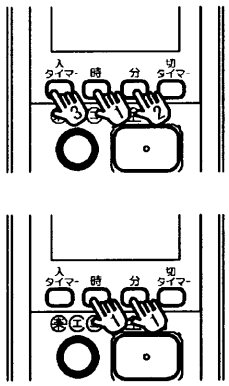
②単4乾電池を表示に合わせて極性＋－をまちがえないように入れて、カバーを閉めてください。




**ご注意**
・乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
・長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は電池をはずしておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

## ■時計の合わせ方

時刻設定が正しくされていないと、予約したい時刻に動作しません。




### ＜電池投入時＞

※電池投入後60秒間は「午前0:00」が点滅します。

①《時》ボタンで時刻を合わせます。
《時》ボタンを押すごとに1時間単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

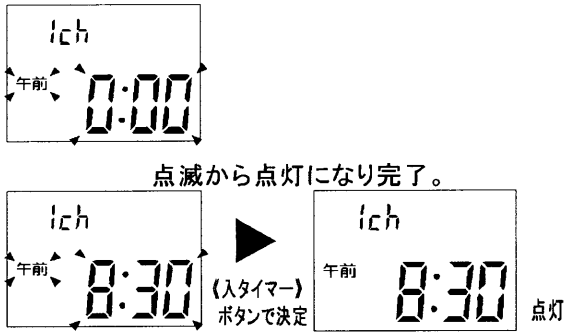
②《分》ボタンで分を合わせます。
《分》ボタンを押すごとに1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

③《入タイマー》ボタンを押して決定します。

### ＜時刻を変更するとき＞

①《時》＋《分》ボタンを同時に2秒間押します。
②「電池投入時」の①～③と同じ手順で時刻を登録します。

例）午前8：30に設定する場合




## ■照明器具とリモコン送信器のチャンネルの合わせ方

**2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信器で行えます。**

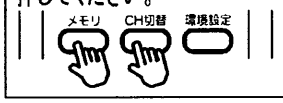
それぞれの照明器具のチャンネルをCH1・CH2と機別に設定した場合、リモコン送信器のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみ動作します。

1. 照明器具のセードまたはチャンネルスイッチカバーをはずし、チャンネル切替スイッチのチャンネルを確認します。（器具によって、チャンネル切替スイッチの位置は違います。）
2. リモコン送信器のチャンネルを照明器具と合わせてください。

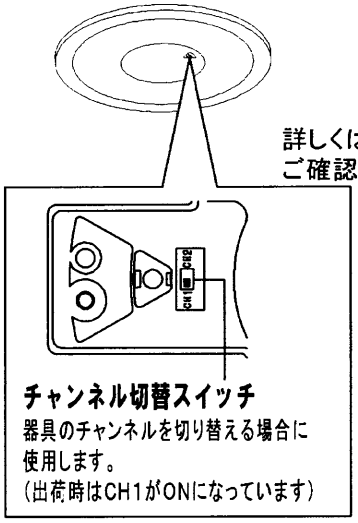
**ご注意** チャンネルが合っていないと操作できません。

3. 現在設定されているチャンネルが表示されます。

**チャンネルを切り替えるとき**
《メモリ》ボタンを押しながら《CH切替》ボタンを同時に押してください。

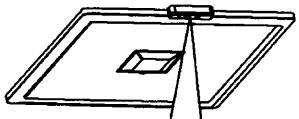



（器具例1）
器具内側（セードをはずす）にリモコン受光部がある場合

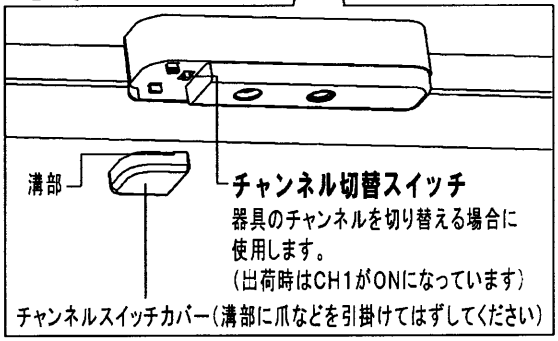



**チャンネル切替スイッチ**
器具のチャンネルを切り替える場合に使用します。
（出荷時はCH1がONになっています）

（器具例2）
器具外側にリモコン受光部がある場合



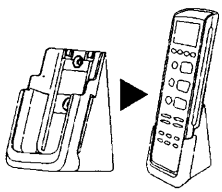
詳しくは照明器具取扱説明書をご確認ください。




## ■リモコンホルダーのご使用方法

### 卓上ホルダー

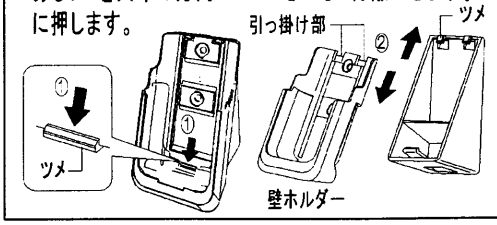
卓上にリモコンを置く時に使用します。タイマー設定時には、器具にリモコン正面を向けて、ご使用ください。



**卓上ホルダーは分離して、壁ホルダーとしてもご使用いただけます。**

①卓上ホルダーを下部にあるツメを矢印の方向に押します。

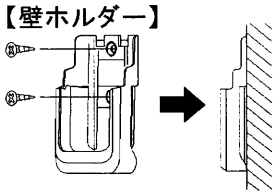
②矢印の方向にスライドさせると分離できます。



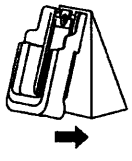

【卓上ホルダー】

壁ホルダーの「引っ掛け部」にホルダー受けの「ツメ」を合わせて➡の方向に押すと卓上ホルダーになります。

【壁ホルダー】



（組み立て方）



**ご注意** 壁ホルダーに入れたままで、リモコンが効きにくい場合はホルダーから送信器をはずして器具に向けてください。
同様にその場所でのタイマー予約はしないでください。

# ■照明器具の操作方法

## 明るさと色(光色)の調節

白色LEDと電球色LEDの明るさの組み合わせにより、お好みに合わせて、明るさと光色を調整できます。

### ■明るさの調節

照明、常夜灯それぞれ調光することができます。

**●照明**（明るさを100%～約1%まで調光することができます。）

点灯している状態で、《明るさ▲ ▼》ボタンを押します。

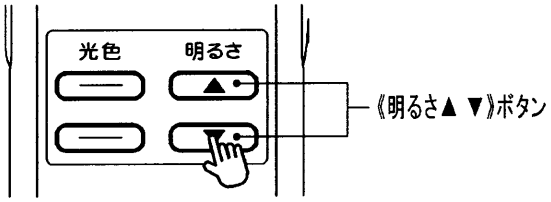
・1回押すと、一段階ずつ明るくなります。
・長押しすると、連続して調光します。

**●常夜灯**（明るさを6段階まで調光することができます。）

LED常夜灯が点灯している状態で、《明るさ▲ ▼》ボタンを押します。

・1回押すと、一段階ずつ明るくなります。
・LED常夜灯の明るさはメモリされます。

操作ボタン




・明るさ変化の段階は光色によって異なります。(下図参照)
・明るさが上限・下限の場合は、照明器具がピピッとなります。

**ご注意** LED常夜灯は光色の調整はできません。

### ■色の調節

**●昼光色にする場合**

《光色》ボタン(ブルー)を押します。

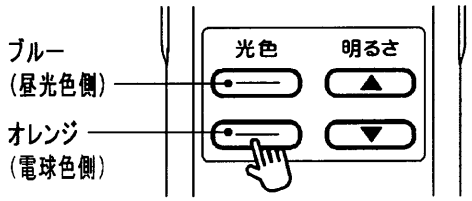
・1回押すと、一段階ずつ昼光色に近づきます。

**●電球色にする場合**

《光色》ボタン(オレンジ)を押します。

・1回押すと、一段階ずつ電球色に近づきます。

操作ボタン




色の変化の段階は、明るさによって異なります。(下図参照)

・長押しすると、連続的に変化します。
・色上限の場合は、照明器具がピピッとなります。

### 光色と明るさの関係

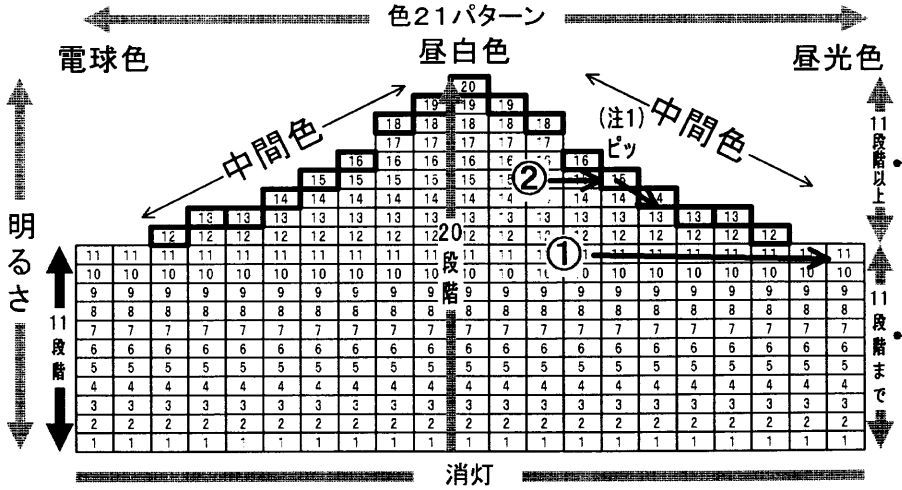
●明るさの段階は、点灯している色の状態によって異なります。

・全光時 100%～約1%(20段階)
・白色時 約50%～約1%(11段階)
・電球時 約50%～約1%(11段階)
・中間色 (11段階～19段階)

●ボタンを長押しして、連続的に色を変化させる場合

①明るさ11段階より暗い場合 :明るさ一定で、色を変化させます。
②明るさ11段階より明るい場合:明るさ一定可能範囲までは、色が連続で変化します。

※明るさが変わる場合は、いったん本体がピッとなって色の変化がとまります。



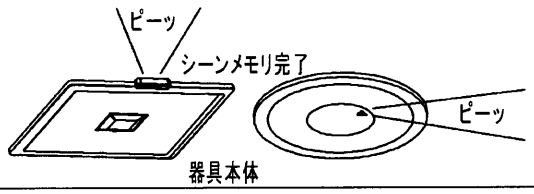

色が上限の明るさの状態では、それ以上に色を変化(図中:注1)させると、明るさも同時に変化します。

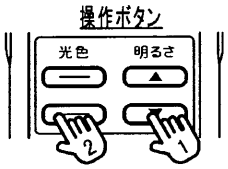
②明るさ上限(囲い)では色の向きによっては、明るさが減少します。

①明るさ11段階までは、色を変えても明るさ一定です。

## お好みの明るさ・光色をシーンボタンにメモリする（調光状態を記憶する）

よく使う明るさ・光色（調光）をメモリすることができます。
例）シーン1にメモリする
1.《明るさ▲▼》ボタンでお好みの明るさに調光します。
2.《光色》ボタンでお好みの光色に調光します。
3.《メモリ》ボタンを押します。
画面がメモリ待機となります。
4.《シーン1》ボタンを押します。
ピーッと鳴って器具本体にメモリされます。
シーン2にメモリする場合は、《シーン2》のボタンを押します。

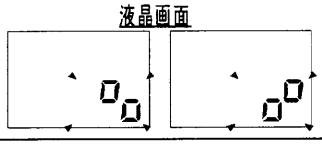


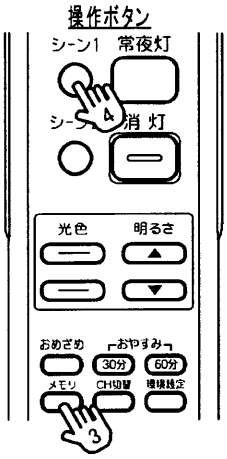

シーンにメモリした明るさを変更する場合は再度1～3の手順を繰り返してください。（上書きされます）

照明器具に向けて操作してください。

工場出荷時は、以下に設定してあります。
シーン1：約10%・昼白色、シーン2：約70%・昼白色




メモリ待機中は画面が点滅します。




## 楽エコセンサー

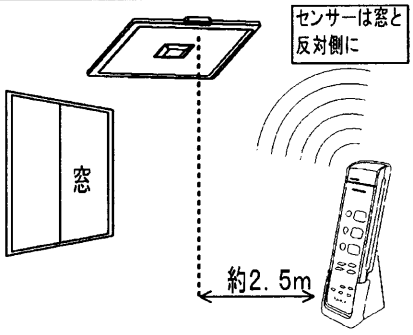
照度センサーが、外光や他の照明器具などによる部屋の明るさを検知して、自動で明るさをコントロールします。
余分な明るさを抑えるので省エネです。
楽エコセンサーの利用には、初めに環境設定が必要です。
環境設定がされていない場合には、楽エコセンサーによる制御は行われません。全光点灯いたします。

### ■設定方法

#### 環境設定

**設定時の注意**

- **照明器具から約2．5m離れて行ってください。**
  楽エコセンサーに影響が無いようにします。
- **夜間などの外光が入らない環境で行ってください。**
  ほかの光が影響しない状態で、お好みの明るさにした状態で行ってください。
- **部屋の中にある他の照明は、常時点灯させている場合を除いて消灯させてください。**
- **センサーの向きは窓と反対側にしてください。**
  ほかの照明の光の影響で正常な設定ができない場合があります。

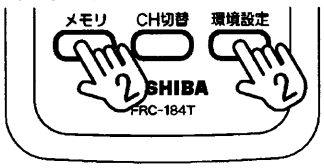


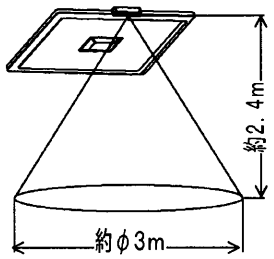

**1．楽エコセンサーの基準となる明るさを登録します。**
ほかの光が影響しない状態で、お好みの明るさにしてください。

⇒明るさの設定方法は、3ページ。

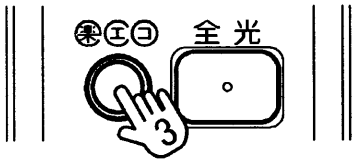
**2．リモコンの ≪メモリ≫ ボタンを押しながら ≪環境設定≫ ボタンを同時に押してください。**
センサー検知範囲内の室内の明るさが登録されます。

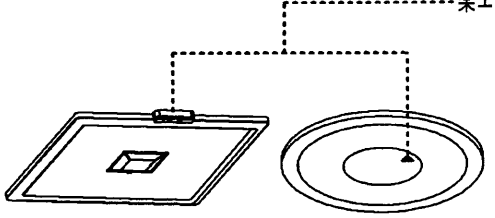
センサーが検知範囲に入る光を検知し、照明器具が自動で明るさをコントロールします。




**3．《楽エコ》ボタンを押してください。**
楽エコセンサー動作し、楽エコセンサーのモニター部のLEDが緑色に点灯します。
セード透過部から緑色のLEDが確認できます。




**ご注意** リモコンで《消灯》ボタンにより消灯した場合には、楽エコセンサーは復帰しません。
再度、使用の場合は≪楽エコ≫ボタンを押してください。

# ■タイマー機能を使う

## 入タイマーを予約する

タイマー機能を使って照明器具を「昼白色・約70%」調光させることができます。

例)午後7:30に入タイマーを予約する場合。　時計を正しい時刻に設定しておいてください。(⇒時刻の設定は、P2)予約の解除方法は(⇒予約を解除するは、P6)

**1.《入タイマー》ボタンを押します。**
画面が点滅します。

工場出荷時は午後6:00に設定してあります。

操作ボタン

液晶画面

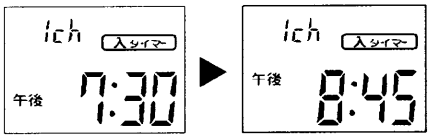
**2.《時》、《分》ボタンで時刻を決めます。**
《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。

ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

**3.《入タイマー》ボタンを押します。**
液晶画面が点滅から点灯に変わり 入タイマー が液晶画面に表示され予約完了です。

▼

約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。




3秒後、現在の時刻の画面に戻ります。

いったん予約されると予約を解除するまで、毎日同じ時刻に「調光点灯」を繰り返します。

## 切タイマーを予約する

例)午後11:30に切タイマーを予約する場合。

**1.《切タイマー》ボタンを押します。**
画面が点滅します。

工場出荷時は午後9:00に設定してあります。

操作ボタン

液晶画面

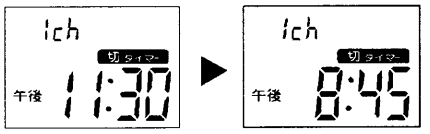
**2.《時》、《分》ボタンで時刻を決めます。**
《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。

ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

**3.《切タイマー》ボタンを押します。**
液晶画面が点滅から点灯に変わり 切タイマー が液晶画面に表示され予約完了です。

▼

約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。



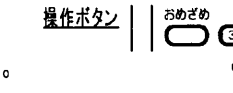

3秒後、現在の時刻の画面に戻ります。

いったん予約されると予約を解除するまで、毎日同じ時刻に「消灯」を繰り返します。

## ゆっくりおやすみタイマー

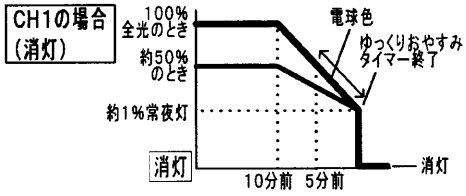
ワンボタン操作で30分後、または60分後にLEDの自動消灯ができます。
「30分」ボタンを押すと器具がピピッと2回鳴ります。「60分」ボタンを押すと器具がピピピッと3回鳴ります。

操作ボタン

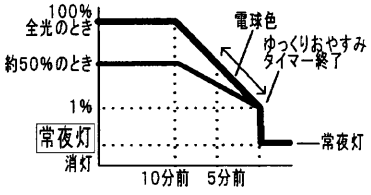



**チャンネルの設定で、ゆっくりおやすみタイマー消灯後の照明器具の状態が選べます。**
設定時間の10分前から徐々に電球色に変化しながら暗くなり、消灯(CH1)常夜灯(CH2)になります。

CH1の場合(消灯)




CH2の場合(常夜灯が点灯)




**ご注意**
- 「全光」「シーン」「常夜灯」「消灯」のいずれかを操作すると解除されます。
- 常夜灯が点灯している状態で、ゆっくりおやすみタイマーのボタンを押した場合は、CH1、CH2とも30分後(または60分後)に消灯します。(明るさはゆっくり減少しません。)
- 出荷時は本体側、リモコンともにCH1に設定されています。設定を変更する場合は、本体とリモコンの両方のチャンネルを変更してください。

**ゆっくりおやすみタイマー作動中は液晶のタイムカウントが点滅します。**

CH1とCH2でそれぞれタイムカウント表示ができます。
チャンネルを切り替えて表示させた場合は、約3秒後にタイムカウント表示に戻ります。

液晶画面

## おめざめタイマー機能を使う

予約した30分前から徐々に設定した明るさまでゆっくり点灯させることができるタイマー。
スタートから15分は昼光色で明るくなり、シーン1でメモリした明るさまで、徐々に明るくなります。

例）午前7：30におめざめタイマーを予約する場合。

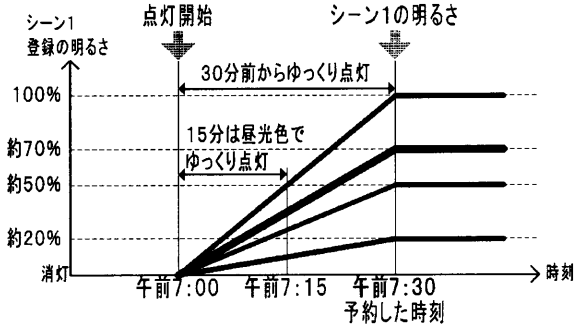
**1.《おめざめ》ボタンを押します。**
画面が点滅します。

**2.《時》、《分》ボタンで時刻を決めます。**
《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。

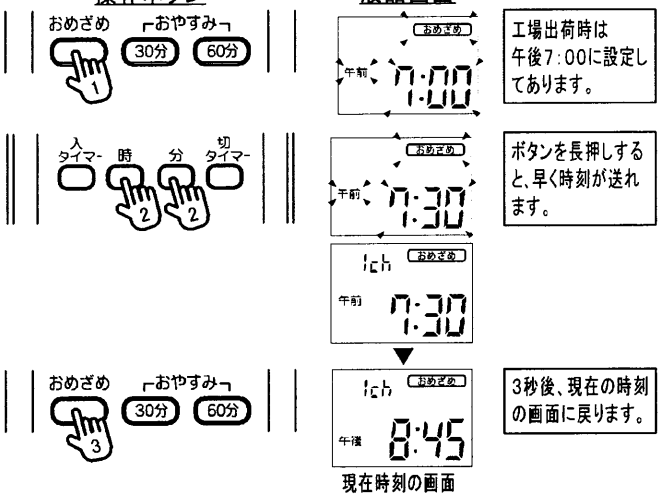
**3.《おめざめ》ボタンを押します。**
液晶画面が点滅から点灯に変わり、おめざめ が液晶画面に表示されたら、予約完了です。

▼

約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。




操作ボタン　液晶画面



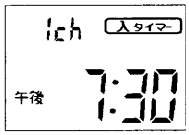

**ご注意**
・シーン1に調光下限約1%をメモリした場合は、徐々に明るくなりません。
・いったん予約されますと予約を解除するまで、毎日同じ時刻に「おめざめ」点灯を繰り返します。
（予約の解除方法は「予約を解除する」を参照ください）

## タイマーの予約時刻を確認する

例）入タイマーの場合

液晶画面

**1. 液晶画面表示の確認。**
液晶画面上に《入タイマー》が、表示されていることを確認してください。



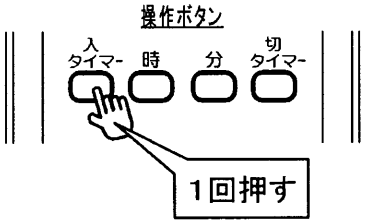

**2.《入タイマー》ボタンを1回押します。**
現在の予約時刻を表示します。

▼

3秒後に現在時刻の画面に戻ります。

**『切タイマー』『おめざめタイマー』の予約時刻確認**
切タイマー おめざめ が表示されている状態で《切タイマー》《おめざめタイマー》のボタンを1回押します。

操作ボタン

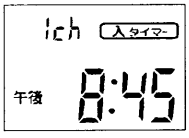



## タイマーの予約を解除する

例）入タイマーの場合

液晶画面

**1. 液晶画面表示の確認。**
液晶画面上に《入タイマー》が、表示されていることを確認してください。



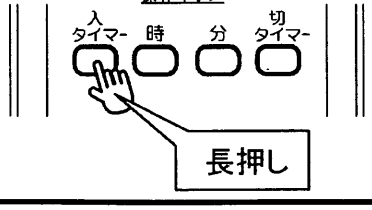

**2.《入タイマー》ボタンを3秒間長押しします。**

▼

入タイマー 表示が消え現在表示時刻に戻ります。

**『切タイマー』『おめざめタイマー』の予約解除**
切タイマー おめざめ が表示されている状態で《切タイマー》《おめざめタイマー》のボタンを長押しします。

操作ボタン



## タイマーの予約中の設定時刻を変更する

例）入タイマーの場合

**1. 液晶画面表示の確認。**
液晶画面上に《入タイマー》が、表示されていることを確認してください。

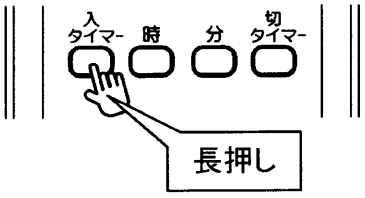
**2.《入タイマー》ボタンを3秒間長押しします。**

**3. タイマー予約時刻が解除されます。**

**4.『入タイマーの予約をする』の操作をします。**

液晶画面

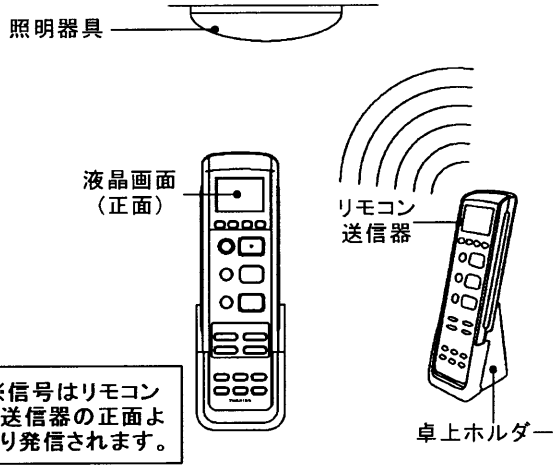
操作ボタン




**ご注意**
- 一度解除しないと予約時刻の変更はできません。
- 切タイマー、おめざめタイマーの予約時刻を変更する場合も、一度予約を解除してください。

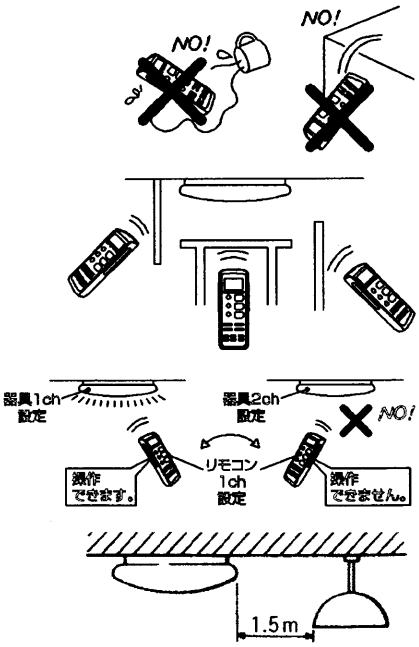
## タイマー予約における使用上のご注意

- 壁スイッチは必ずONにしてください。
- リモコン送信器と照明器具の距離が離れすぎるとリモコン信号が届かない場合があります。
- 付属の卓上ホルダーにリモコン送信器を置き、照明器具へ向けて必ずリモコンが操作できることを確認してください。
- 卓上ホルダーを本やふとんの上、斜面などの不安定な所に置かないでください。
  転倒した場合、信号が照明器具に届かなくなる場合があります。
- 器具と送信部の間に、しゃへい物が無いことをご確認ください。
- 天井の高さにより受信範囲が異なります。2．4mを超える天井高さでは効きにくい場合があります。
  これを超える場合は床置きではなく、テーブルの上などの家具に置いて使用してください。
- 卓上ホルダーに置いた場合は、器具真下から約3mが受信範囲になります。
- 卓上ホルダーにリモコン送信器を正しい向きにセットしてください。(右図参照)
- 卓上ホルダーをご使用にならない場合は、正常に動作しない場合があります。
- 直射日光のあたる所には送信器を置かないでください。
- ストーブや、ファンヒーターの吹き出し口近くには、置かないでください。




## リモコン使用上のご注意

- リモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどにはご使用できません。
- リモコン送信器は、照明器具の壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1W以下の電力を消費します。
  長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電を心がけてください。
- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信器が動作しない場合がありますので、その際は、しゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。
  又、電池が消耗していると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- 照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。
- リモコンで消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。
- 1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。
  2台の照明器具を1つのリモコン送信器で操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを合わせて操作してください。
- インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用はインバーター器具から1．5m以上離して取り付けてください。
- 冬場など周囲温度が低い時、点灯直後、リモコン送信器での連続調光『明るさ▲▼』ボタン・『光色』ボタンでの長押し操作がききにくい場合があります。その場合は、長押しせず、1回ずつ押しながら調光してください。



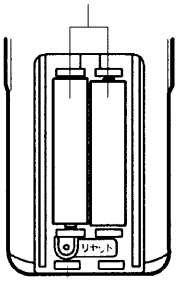



0032438A

## ■故障かな？と思ったら

| 現　象 | 考えられる要因 | 処　置 |
|---|---|---|
| リモコン送信器で照明器具が操作できない。 | リモコンの電池が正しく入っていない。 | 電池を正しく入れてください。 |
| | 照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。 | チャンネルを合わせてください。 |
| | 壁スイッチがOFFになっている。 | 壁スイッチをONにしてください。 |
| | リモコンの電池が消耗している。 | 新しい電池に交換してください。 |
| | リモコン内のマイコンが制御できなくなっている。 | 電池ふたを開けて、先の細いもので リセットボタンを押してください。（右図参照） |
| 予約時刻になっても動作しない。 | リモコンの電池が正しく入っていない。 | 電池を正しく入れてください。 |
| | 時刻が合っていない。 | 時刻を合わせてください。 |
| | 照明器具に信号が届いていない。 | 卓上ホルダーに置いて照明器具が動作する場所に置いてください。 |
| ゆっくりおやすみタイマーで消灯しても常夜灯が点灯する。 | CH2でゆっくりおやすみタイマーが操作されている。 | リモコンと本体のチャンネルをCH1に切り替えて操作してください。 |
| ランプが5秒間隔で<br>昼白色の全光→昼光色の全光<br>→電球色の全光<br>→昼白色の1%<br>→昼白色の全光<br>を繰り返す。 | 工場検査モード（デモモード）になってしまっている。 | 《光色オレンジ》《光色ブルー》《消灯》の3ボタンを同時に3秒間長押ししてください。<br>器具本体が“ピーッ”と鳴って通常動作に戻ります。 |

電池




リセットボタン穴

## ■お客様メモ

購入年月日　　年　　月　　日

**修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は**

**お買い上げの販売店へご相談ください。**

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

**東芝ライテック照明ご相談センター**

**0120-66-1048**（通話料：無料）
受付時間：365日　9:00~20:00
携帯電話・PHSなど 046-862-2772（通話料：有料）
FAX 0570-000-661（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社　LED事業部　〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1　TEL (046) 862-2079　FAX (046) 861-8841



0032438A